

## 海外安全対策情報（2020年1月～3月）

### 1 社会・治安情勢

ウガンダでは、マーケットやイベント会場など混雑する場所での窃盗（スマートフォンが多い）や深夜の住居侵入、強盗などの凶悪犯罪に巻き込まれる事件が多く発生しており注意が必要です。特に、日が落ちてからの徒歩移動や人通りが少ない路地の通過は危険なため避けてください。

3月には新型コロナウイルスの流行の影響で、日本人を含むアジア人への風評被害（傷害致傷事件など）が発生しておりローカルマーケットなどの外国人が少ないエリアへの立ち入りは極力控える等の予防措置が必要です。

また、3月21日にウガンダ国内初の新型コロナウイルス感染者が確認された後、4月9日現在累計53名の感染例が発表されており、入出国禁止、夜間の外出禁止、公共交通機関の使用禁止などの対策措置が取られています。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪

#### （1）盗難・強盗事件等

##### ア 邦人被害事案

1月 カンパラ市からムコノ県に向かう乗り合いバス（マタツ）内でズボンのポケットに収納していたスマートフォンが盗まれました。

3月 カンパラ市で夜間市内を散策中に「コロナ！コロナ！」と言われた後右耳付近を殴打される事件が発生しました。

##### イ 邦人以外

1月 カンパラ市で車窃盗の疑いで13人の容疑者が逮捕され、8台の車両が押収されました。

3月 ゾンボ県では約100名の武装したグループが軍事施設を攻撃し、銃撃戦の結果22人が殺害され、35人が逮捕されました。「Uganda Homeland Liberation Force (UHLF)」によって行われてと言われていています。

#### （2）殺人事件

1月 カラモジャ地区（モロト、ナパク、コティド）では、治安が悪化しており武装した牛泥棒による殺人事件が発生しています。

2月 ナンサナで警察が政党のpeople powerのサポーターを解散させ

る際に、1名が射殺されました。・

2月 カンパラのノーザン・バイパスにて被害者は、電話をひったくられたため、泥棒を追いかけて逮捕しましたが泥棒グループにレンガで殴打され死亡しました。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

ウガンダに関して、テロ・爆弾事件は2010年7月以降発生していません。しかし、2019年4月に発生したスリランカの同時爆発事件をはじめ予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や金取引に関する詐欺事件などが継続して発生していますので取引の際は慎重な調査を行う必要があります。

引き続き事務所、自宅への侵入被害が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、セキュリティがしっかりした物件を選んでください。入居後も、侵入が容易な場所はないか他の侵入被害情報などを参考に定期的にチェックして警備レベルの維持と向上に努めてください。

以上